

「これからの学校を語る会」（本荘地域）での主な意見
(平成30年6月11日 会場：カダーレ)

- ① 小規模な学校と大規模な学校との間に教育格差を生じさせない取り組みについて、非常に気になっている。
- ② 本荘地域の小学校を3校にすると書かれた新聞を見て、少し心配している。4つの選択肢が示されているのに、3校の部分のみ強調されたと思う。子吉小学校の推移を見ると、6年後もさほど変わらない。簡単に1中学校区 1小学校 1中学校とはいかないように思うが、新聞では一気にここに進むような記事だった。
- ③ 子吉小学校は、今後数年急激な児童数の減少はないようであるが、減少した、または減少している小友小学校や石沢小学校では、スポ少が成り立たなくなっている状況を聞いている。スポ少一つとっても児童数の減少が大きく影響することから、今後が非常に心配である。
- ④ 今回の提言は、本荘地域の中でも特に東中学校区全体に関わる部分大きい。
- ⑤ 今回の新聞記事に対する保護者やCS関係からの反応はほとんどなかった。10年以上先の話という見方をしているのか、自分には関係ないと思っている保護者が多いのではないかと思う。
尾崎小学校の保護者は、他地域から転居してきた親も多く、尾崎小を母校としている親が少ない。自分の母校である親と転居してきた親では、その意識に大きな差があると思う。
- ⑥ 老朽化の進んでいる校舎が複数あることが分かった。学区に対する課題があることも分かった。この際、小学校を3校ではなく2校にすればどうだろうか。
- ⑦ 鶴舞小学校の老朽化も進んでいる。東中学校区を一つの学校にまとめる場合、尾崎小学校を東中学校区近くに移し、老朽化の進んでいる鶴舞小学校を尾崎小学校に移して、尾崎小学校の校舎を鶴舞小学校の校舎として使用してはどうか。
- ⑧ 「適正な学校規模として、文部科学省は12～18学級を示しているが、その理由はなぜだろうか」との問いを発した参加者に対し、参加者から「全国的に、12～18学級の学校規模が多く、先生の多くはこの規模での教育に慣れている面が多いことから、この面も理由のひとつとして位置づけ、適正規模の目安としているのではないだろうか。逆にいうと、複式学級を経験している先生が非常に少ないのではないか。
- ⑨ 建築の面もあるので、財政的な面からも学校統合を考えるべきかと思う。そういう面から考えると、一気に第4の選択肢が相応しいと思う。
- ⑩ TDKの動きや、それに伴う住宅地の広がりなども視野に入れる必要があると思う。
- ⑪ 新山小学校は、大規模すぎて、俳句大会への参加など、様々な取り組みができない状況にあると思う。人が多すぎて、誰かがやるだろうという風潮もあるかと思う。あまりマンモスな学校でも良くないと思う。やはり、国が示している12～18学級が良いのかもしれない。
- ⑫ 新山小学校の学区が非常に広い。スーパーイオンあたりにもう一つ学校があっても良いと思ったりする。
- ⑬ 第4の選択肢に近づいていくのは必然ではないだろうか。
- ⑭ 財源をしっかりと考えないと、現実とのずれが生じてしまう。その点を十分意識して進めるべきだと思う。
- ⑮ 財源を考えると、老朽化している校舎を全て建て替えるというのではなく、再利用や改修をして延命措置を図るなどの取り組みも必要ではないかと思う。
- ⑯ 第3の選択肢に子吉小が入っているのはどうか。まだまだ増える可能性があるもので、100人以下にはならないのでは。
- ⑰ 以前、鳥海地域で統合した際、通学に多く時間を要したため、ストレスで参ってしまった児童がいた。東中学校区も広範囲であり、石沢での山内地区あたりは大変遠いので心配である。
- ⑱ 複式学級だからダメなのか。サポートの先生がついて、大規模校ではできない学習ができる。
- ⑲ 新山小は学区が広く、バスが通っていてもバス停から自宅までの距離が長くて大

- 変。スポ少に入ると、親が毎日送迎することになる。送迎の工夫ができないものか。
- ⑳ 複式になっても、空き教室を利用したり、先生が交替するなどして工夫できないか。
 - ㉑ 統合した場合に環境の変化でパニックになったりする子どもがいる。フォローの先生を配置してほしい。
 - ㉒ 鳥海の百宅地区の子どもは、通学に時間がかかるため、スポ少に入ることができなかった。
 - ㉓ 12～18学級が望ましいとあるが、秋田県はどうしても少人数学級が多い。規模の違いでそんなに差があるのか。国際教養大は少ない人数で成果をあげている。
 - ㉔ 複式にもメリット、デメリットがあり一概には言えないが、学校も老朽化するし、先生の配置にしても、いつまでも現状を維持していくのは難しい。すぐに解消できるわけではないが、第4の選択肢に向けて進んでいくしかないと思う。
 - ㉕ 第3の選択肢がよいと思ったが、学校を建てるとなると難しいのでは。ただ、その頃には児童数はもっと減ると思う。
 - ㉖ 石沢小、もう少し人がいたほうがよいと思う。異学年交流もよいが、同じ学年の中でも、もう少しいろいろな人とふれあう機会があったほうがよい。
 - ㉗ 子吉小も1クラスしかなく、クラス替えが出来ず、スポ少も限られてくる。いろいろなことをやらせてあげたい。
 - ㉘ 私自身は3クラスで育った。人数が少ないと出来ないことも多いが、新山小はちょっと多いと思う。
 - ㉙ 小さいところから大きなところへ行くことの不安はあると思う。
 - ㉚ スポ少はやりたいことをやらせてあげたい。
 - ㉛ いずれは第4だと思うが、段階的な施策を望む。同じような環境で学ばせてあげたい。
 - ㉜ 東中学区の再編によっては、東中と南中の位置関係も逆転する可能性がある。慎重な協議が必要である。
 - ㉝ 新小学校の位置によっては、石沢から中心部に出て行く人もいるのでは。石脇地区でも実家を出て行く人が多い。
 - ㉞ 複式のデメリットが大きいので、複式を解消してほしいという保護者の願いがあるのではないか。
 - ㉟ 統合するにしても小学校1年生の通学距離を考えないといけないのではないか。
 - ㊱ 人数が少ないために学区を変えることもあったが、町内会にとってどうなのか。
 - ㊲ 複式はしょうがない。それに伴っての問題が出てくる。統合はやむを得ない。
 - ㊳ 新設するとなるとお金もかかる。統合はやむを得ないだろう。
 - ㊴ 複式が生じるために、統廃合は物理的にもやむを得ない。
 - ㊵ 学校がなくなるのは、地域にとっても大きな損失になるだろう。
 - ㊶ 本荘地域と大内地域以外は小1校、中1校となっている。その方向に向かって行かざるを得ないのではないか。
 - ㊷ スクールバスも地域の足として活用できないか。今よりも便利になるということもあるかもしれない。石沢地域でもスクールバスは2台は必要だと思う。
 - ㊸ この会も、提言も石沢を前提に進んでいる気がする。小友に統合する方向で進んでいるのかなという気がする。
 - ㊹ 尾崎ができる時も、学区のことでいろいろあったと記憶している。
 - ㊺ 今の東中のところに小学校を持っていくのが見える気がする。まとめたくはないけれど、旧市内にまとめざるを得ないのではないか。
 - ㊻ 1小1中は無理な気がする。中学校3カ所になるとすれば、小中一貫校という形で学校も作ってしまえばいいのでは。
 - ㊼ 松ヶ崎の子どもたちも少ない人数から北中に来た時のように分けていくか考えることもあった。少人数の学校から大きい学校に行った時のギャップは大きい。不登校も心配される。新しい友だちにも入れないということも心配だ。
 - ㊽ 統廃合ありきの進め方はしなくてもいい。
 - ㊾ 単なる人数合わせの統合ではよくない。
 - ㊿ 生徒数の減少＝統廃合、が全てではない。学校の存続を前提としてほしい。教育

環境の格差はあって当然、むしろ地域の特徴に合った教育をしてほしい。たとえば離島で子どもが1人しかいなくても学校はあるのではないか。

- ⑤1 学校がなくなることによって地域が衰退することが心配。他市でそういう例があったと聞いている。
- ⑤2 小規模校が性格に合っている子どももいる。子どもの目線で見るとどうなのかという視点が提言に欠けているのではないか。
- ⑤3 複式学級を避けるために、複式学級となる人数の基準を変えることはできないか。
- ⑤4 学区の分け方を調整し、児童数のバランスを取ることはできないか。娘夫婦の家では、隣家の子どもが違う小学校に行っていると聞いている。市内の人数の多い学校（鶴舞小・尾崎小）から郊外の人数の少ない学校に分散させてはどうか。
- ⑤5 学校を新たに建設するとなると、建設場所の問題が出てくる。また、統合したとしても人口減少がさらに進んだ後のことが心配。
- ⑤6 スクールバスも大きな問題となる。北内越地区の子どもは新山小に通学しており、本荘地域でもスクールバス運用が可能だと思う。市内であれば徒歩や循環バスの活用も考えられる。保護者としてはできるだけ自宅近くまで運行してほしいが、あまり細かいルートにすると時間や費用がかかってしまう。
- ⑤7 スクールバスを運用しても、部活・スポ少があれば利用できない。結局は保護者が送迎することになる。遠距離通学では親子とも負担が大きい。
- ⑤8 生徒数の推移の資料は、「このまま行くと複式学級は避けられない、統廃合はやむをえない」という結論に持って行くための教育委員会の誘導ではないのか。語る会も「意見を聞きました」という体裁を整える目的ではないのか。
- ⑤9 「こういう方向で行きたい」という教育委員会の考え方を示してもらったほうが議論しやすくなると思う。
- ⑥0 企業経営と学校運営は違う。単純にコストカットすればいいわけではない。だが、校舎を建設するとなれば財源のことを考えないわけにはいかない。学校数が少なくなれば先生の人件費は減ると思う。
- ⑥1 人数の多い学校や減少が緩やかな学校は、当事者意識に温度差があると思う。石沢地域ではどういう意見が出ているのか知りたい。
- ⑥2 新山小、鶴舞小、北中の老朽化が進んでいることも気にかかる。
- ⑥3 生徒数の減少を食い止める長期的な政策が必要。世帯数の多い町内会でも高齢化が進んでいる。仕事があれば現役世代が戻ってくる。だが、結婚しない、子どもを産まないという風潮もある。
- ⑥4 石沢小はいずれ複式学級になってしまうのか。ならない方法は何かないのか。
- ⑥5 子供の学ぶ環境として、石沢小の複式学級については早急に考えないといけない。メリット・デメリットあると思うが、学習するところは2人の先生がついてもらえばよいと考える。
- ⑥6 石沢小について、複式学級を経て、さらにこのあと減少して統合校になるのはやむを得ないが、もう少し早めに対策していればと思う。何か複式化を避ける方法はないのか。
- ⑥7 複式学級に2人の先生という話があったが、現状講師の先生そのものが減少しており、リスクがある。再任用を雇用等して解消をお願いしたい。
- ⑥8 統合するのであれば、石沢・子吉・小友の3校統一校という意見も多い。各校築年数も30年を超えていることから、何回も統合するよりも、石沢小は複式で繋ぎながら、最初から3校新設校の新築を早めてほしいという声がある。
- ⑥9 石沢小のような小規模校から、東中のような大規模校に移ると適用に時間がかかるという話があった。何かしら手当が必要ではないか。
- ⑦0 石沢小のことでなく、鶴舞小と尾崎小のことも考えなければいけないのではないか。各中学校のことも結びつけて考えないといけない。
- ⑦1 鶴舞小をどうするか。現在の敷地が正しいのか、あるいは尾崎小敷地がよいのか考えなければいけない。鶴舞小が決まってこない、石沢・子吉・小友の3校統一校も決まってこない。
- ⑦2 ICTを活用するなど、小規模校でも弾力的な学習形態が可能ではないか。

- ⑦③ 石沢・子吉・小友の3校統一校だけでなく全体の都市計画に組み込んで考えていくべき。
- ⑦④ H25年度の北内越小の新山小統合への時に関わった。北内越小は複式も2年経験した。もともと小さい規模の学校だったので、複式でも支障はなかった。北内越小の人数が100人以下になったときから不安になった。この小さい小学校の規模のまま、大きい学校へ入学して大丈夫か。小さい規模の小学校から大きい規模の中学校へ行くと、ショックがある。自分自身もそうだった。その事を考え、新山小との統合へ踏み切った。
- ⑦⑤ 統合の中にはつまづいてしまった子供もいて、不登校になった人もいる。不登校の子はその子の弱さだったのかもしれないが。今になって、小さいままの方がよかったかと思うときもある。通学距離が長くて、親・祖父母の送迎なしには通学が困難だ。統合する場合は、通学方法、スクールバスの運用など、親ともよく話し合ってください。
- ⑦⑥ 川口町内は、徒歩通学だが新山小まで徒歩40分強かかる。近隣の町内はみなバス通学になっている。送迎の家族の不満が募っている。
また、児童数が減ってきて、統合になってもしかたないと思うが、(石沢小友を統合した場合など)歩く距離、バスに乗っている時間が長い。不審者が出たときなど、対応方法などどうするのか。よく検討して欲しい。
- ⑦⑦ 1中学校区1小1中になった場合、新しい小学校が建てると思うが、建てる場所をよく考えて欲しい。単に尾崎小の場所に建てるのではなく、鶴舞・尾崎の今の学区割りも含め、慎重に新しい学区を考えてほしい。尾崎小の前を通り過ぎて、鶴舞小学校へ通っている子供もいる。単に人数が少なくなり、まとめるということではなく、よく考えてほしい。
- ⑦⑧ 学校を建てる場所をよく考えて欲しい。住宅地が移ってきて、子吉の人数が増えているし、鶴舞小は減っている。今後、どこに住宅地が移っていくかわからない。また、夕方、バスで帰ってきて、バスを降りてから歩いて自宅に帰るときが大変そうだ。統合して、大きい規模の学校にする場合は、遠距離通学の子供のこと(通学にかかる時間、方法など)もよく考えてほしい。
- ⑦⑨ 学校は地域にとって大事ですし、なくなると人の流れが変わりますので、都市計画の中に組み込んで前から考えていかなければならなかったのではないのでしょうか。私から見ても、場当たりのなところがあるような気がします。子どもにとっては、環境はほんとに大事なもので、もっと長い目でじっくり考える時間が必要で、例えば縦割りの教育関係と、都市計画的な交流関係とか縦割りでいくのではなくて、いろんなかたちで連携し合っていかなければならないと思います。その辺をもう少し考慮していただきたいと思います。どうやって意見を集めるか、特に若い人の意見をどうやって集めるかということをもっと真剣に考えて、未来に繋げていってほしいなと思います。

「これからの学校を語る会」(本荘東中学校区)での主な意見

(平成30年6月15日 会場:カダーレ)

- ① 今日の説明を聞いていて、第3と第4選択肢の境目がわからなくなった。石沢、小友、子吉で新しい校舎にということですが、新しい校舎を建てて、第4に進んだ時に、また別に建てるという想像ができないので、もうその時点で第4に移行していることになるのではないか。
- ② 石沢の場合、参加者が少ない中で、複式に該当するクラスの保護者はほんとに切実な思いがあると思います。地域の人々のさみしいという気持ちもあるので、石沢おしへの答えというものは出せないと思いますが、実際に学校に通う子ども達のこと、これから社会に出ていくことを考えると、残していくことはなかなか難しいのかなと思います。いろんな意見があるので、そこは地域の人達が知らないうちにこうなったということがないように、なるようにしかならないと思う人もモヤモヤしたものはあると思います。こうなりますよという道筋、方向が見える中で進んでほしいと思います。
- ③ 東中学校のときもそうだったのですが、尾崎小学区の人達はあまり関心がなかった。前回はそうでしたし、今回もそんな感じがします。参加者が少ないと思います。石沢の人達は学校がなくなるかもしれないという危機感がある。
- ④ 例えば、第2を選択して、第4まで10年間かかるといった場合に、果たしてそれまで学校が持つのか心配。もっとスピードアップしたほうがいいのではないか。財源があるのであればよいが。そういうことも出していきながら話をすればよいと思う。
- ⑤ 望ましい学校規模としては、提言にあるとおり2～3学級だと思っています。子吉小の場合、ちょっと多い人数のクラスだと、PTAの時に保護者が入るスペースが非常に少ない教室もあります。いずれ、学校によって環境の違いは大きいなど感じています。財源も厳しくなってきたと思うので、先生の数を増やすなどといったことも難しいと思います。個人的には第4の選択肢が自然な流れです。10年必要だという話ですが、どこの学校の環境も考えれば、10年と言わずすぐにでも着手していただきたいと思っています。保護者の中にはいずれ統合という意識を持っている方が多いと思いますし、児童数の少ない学校はスポ少が成り立たなくなってきた、私としても環境のよいところで子ども達を学ばせたいと思っていますので、第4に向けて早く進めてほしいと思っています。
- ⑥ 統合することによって、小さい学校から大きい学校へ来ることの不安はあると思います。事前に保護者を含めた交流などを行っていければ、不安は解消されていくとも思います。現状を維持していくのは難しい。統合に向けて進んでほしい。
- ⑦ 東中学校が出来たころ、選択制で隣近所で通う学校が違うということがあった。なるべく、統合に併せて学区の再編も十分に検討するべき。いずれ、子ども達のことを一番大事。少ない人数で学ぶよりも、ある程度的人数の中で、勉強もスポ少も同じ環境の中で学ばせてあげたい。第4でどんどん進めてほしい。尾崎小が鶴舞小になってもよいと思う。
- ⑧ お金もかからないことだし、学区の見直しを先に進めたらどうか。石脇地区の中では鶴舞小に近いところもある。新山、鶴舞、本荘北の改修計画とセットで考えてほしい。いずれ、地域の皆さんの意見をよく聞いて、問題が起こらないように進めてほしい。
- ⑨ 教員の配置不足に対して、小中学校が隣接していると小中連携学のかたちで教科によっては学校を行き来して対応するなどといったことも可能になるので、学校再編にあたっては、そのあたりも含めながら検討していくことが必要だと思います。
- ⑩ どの選択肢かと言えば第4、しかし、それまでの間に石沢小の複式は避けられないので、それまでの措置として、第2、第3を考えてほしい。それを早く決めていただいて、まずは第2に進んでほしい。
- ⑪ 尾崎小の人達が方針を受け入れることが出来るのか一番心配。
- ⑫ それが実現するのが10年後だとすれば、今の保護者はいなくなってしまうので

問題ないのではないか。昔からの町内の人数は少なくなっていて、外から新しく入ってきた人が多いので、学校で話をしていても関心が低いのが現状です。

「これからの学校を語る会」（石沢地区）での主な意見
（平成30年6月18日 会場：ウッディホールこだま）

- ① 国立人口問題研究所の資料で、2045年には由利本荘市の人口が45,848人になります。学校建設を考えるときに、本来であれば20年、30年先を見通して進めていくと思いますが、今後はそれが当てはまらない特殊な状況にあると思います。由利本荘市としてどうあるべきか、旧市町の枠にとられる必要はないと思います。先ほどの説明では、第2の選択肢が石沢小と小友小との統合という話でしたが、実際、小友小の校舎は古くなっていますし、狭いです。統合しても1学級の人数が30人台に増えるだけで、学級数は増えず窮屈になるだけです。であれば、由利小学校との統合をすれば、2学級になることができますし、校舎も新しく環境もよいし、教室数も対応可能です。通学距離も由利中まで3キロと近く、由利小までも5キロはないと思うので、通学の工夫をすれば、小友小より近いのではないのでしょうか。卒業後の中学校の選択には検討の必要はあるかと思いますが、このままいくと市全体でも4～5つの学校にならざるを得ないということを考えると、旧本荘市という枠にこだわらなくてもよいのではと思います。
- ② 孫が保育園に通っております。数年後に入学すれば1年生2名、2年生7名とかいう状況で、自分が学校にいたころは600名もいましたので、当時と比べて10分の1になっており、非常に危惧しているところです。報告を受けて、子ども達の将来を考えれば、大半は複式学級を望まないで統合という意見のようですが、私もそう考える1人であります。統合までにも2～3年かかるということですが、1年でも早く統合して複式を避けてほしい。これからでも遅くないと思いますので、意見ばかり聞いていても、全員が賛成というわけにはいかないとしますので、リードして行ってほしいと思います。
- ③ 複式学級の話はだいぶ前にPTAで聞いた。語る会は去年からの開催で、差し迫った状況になっており困惑している。先生も複式には不慣れだと思うので不安を感じる。
- ④ 2年くらい前に保育園を通じてアンケートを取ったが、当時はピンときていなかったように思う。複式でもよいという意見が半分くらいだったはず。複式が現実になって雰囲気が変わってきたと思う。
- ⑤ 他地域の保育園に通っていたので状況がわかりにくかった。家族の中でも意見が分かれる問題だが、語る会には現役世代が参加しにくい。世帯にアンケートを配布しても高齢世代が勝手に記入して提出するということもある。統廃合に反対する高齢世代の意見が反映されやすくなっているのではないか。
- ⑥ 少人数指導、石沢小ならではの取り組み（「対話」の時間など）は良いことだが、複式学級になると大変になる。グループ学習もやりにくくなる。授業時間も半分は自習になる。要領の良い子は上の学年の学習内容を先取りできるかもしれないが。
- ⑦ 小規模校から中学校に進学すると、友達作りに失敗する心配。何かトラブルがあっても同じ小学校出身の子が少ないと逃げ場がない。選べるなら人数の多い学校のほうがよい。
- ⑧ 石沢が一番切実な状況で、次が小友。子吉や尾崎はそこまで切実でない。どうやって議論に加わってもらうか。
- ⑨ 由利小へ行くのも一つの考え方だが、路線バスはないのでスクールバスが2台くらい必要。これまで東中に進学していたのであれば、選択することになるのか。中学進学時に分かれる尾崎のことを聞くと、分かれないうほうがよい。山内は東由利の方が近い。
- ⑩ 児童数を増やす取り組みはできないか。留学生を招く、他地域から石沢保育園に通う子どもの石沢小への進学を認める、大規模校が苦手な子の転入を認める、学区の運用を柔軟にするなど。先生を加配するなどして複式を避けてほしい。
- ⑪ やむをえず複式になるとしても、市で十分にケアしてほしい。また、統合するとなると学校がなくなり、地域の衰退が心配。都市計画など他部署とも連携して全体を見ながら検討して欲しい。地域の気持ちを考えて手立てを考えて欲しい。
- ⑫ 今の尾崎小学校の校舎に鶴舞小が移転させてはどうか。尾崎、子吉、小友、石沢で

- 一つの小学校にする。そこまで一気に進められるといいが、時間はかかる。自分は複式でもかまわないと思うが、複式がイヤだという他の保護者の気持ちもわかる。
- ⑬ いずれ小友小も人数が減るが、当面の対策として小友小と統合するのが最も現実的で早い。学校を建設するとなると、その間の数年が複式になる。とにかくどこかと一緒になって、中学校は東中でいいと思う。
 - ⑭ 地域のシンボルだから学校を守りたい思いはあるが、親の意見としては複式は望んでいない。もっと人の多い環境で育てたいという思い。
 - ⑮ 石沢・小友・子吉の統合に市から主導的に進めてほしい。心から統合反対という意見は少ないようである。
 - ⑯ 複式の学校に入る子供が一番かわいそう。
 - ⑰ 複式を経た子供が地域に住み着くか心配である。石沢もさびれてしまうという思いがある。
 - ⑱ 複式に不安がある。石沢・小友・子吉は繋がりのある地区なので、早急に統合を進めてほしい。統合校は新しい土地が通常であると思うが、石沢小の学校跡地はどうするのか。
 - ⑲ 年代によって考え方が違うようである。年配は地域に学校がなくなるのに反対意見が多いのに対し、若い方は統合に賛成意見が多いようである。
 - ⑳ 統合まで7～8年はやむを得ないので、吸収でも合併でもない、新しい統合校・新しい文化を作ってほしい。
 - ㉑ 統合に移行するまで複式は避けるべきであり、先生を増やしてほしい。学級維持のため緊急的に取り組んでほしい。子供は複式に対するイメージはよくないので、大人の責任として複式でない体制をとらないといけない。
 - ㉒ 第4の選択肢は7～10年掛かるが、第4の選択肢を目指す中で第2の選択肢も同時進行でスピーディーに進めてほしい。
 - ㉓ 同じ条件での新設校に賛成である。新しい統合校は、新しい名前にするべきだと考える。
 - ㉔ 統合し児童が多い方が、勉強や部活動でもレベルアップできる。少数よりは大勢で競い合った方が子供のためになる。
 - ㉕ 統合しても、今まで行ってきたふるさと教育や、地域の良さの伝承教育を充実して行ってほしい。
 - ㉖ 学校は地域のシンボルなので、残して欲しいという意見が多いと行っていたが、本当か。学校がなくなるのはみんな寂しいのは分かる。ただ、子どもが通う学校が小さくてもよいのか。大勢の仲間にもまれて、鍛えられて育って行って欲しい。
学区の統合は小友がいいと思うが、由利もありだと思う。提言は第2から進めて行って欲しい。
 - ㉗ 考え方を变えて、住民のピンチをチャンスとして変えられないか。石沢小が少人数の学校としてブランド化し、大規模校にはない手厚い授業を受けられることをPRする。石沢地区の良い環境を活かして、喘息とかの治療をしながら学校へ通える、留学的なことを実施できるなど。ただ、統合はしかたないと思っている。
 - ㉘ 自分が1年生の時、戦争が始まり、4年生の時敗戦を経験した。石沢小学校の山内分校で複式学級を体験した。分校が途中で無くなり、石沢小へ統合された。突然大きな学校へ行くことになり、大変だった。発言できないし、格差も感じたし、いじめもあった。(子ども達には)始めから大きな学校に入り、どんどんいろんな体験をして、大きくなって欲しい。競争力をつけて欲しい。統合には賛成。
 - ㉙ 石沢振興会でアンケートを取り集計している立場なので、個人的な意見。来年は複式学級になるようだが、二次提言に向けて、教育委員会としての方向性を早めに出して欲しい。できるだけ、複式学級は避けて欲しい。複式学級は子どもに負担、統合すれば通学などで保護者にも負担がでる。どちらの負担もなくなるよう、考えていきたい。
 - ㉚ 統合はさけて通れない。簡単に環境を変えるのはやめてほしい、難しい。地区の意識を確認しながら、進めて欲しい。ピンチがチャンスと捉え、複式学級の良さもあると考える気概があってもよい。大きい学校になれば、ついていけなくて、落ちこぼれる子もいるだろうし。きちんと環境整備をして欲しい。通学距離が長くなれ

ば、保護者の負担もある。

提言は第2で進めて欲しい。段階的に。第3、4に進むのであれば、TDKの辺りとか、東中のあたりに校舎を建設して欲しい。

- ⑳ 統合した場合、上川大内小の地区の方に聞いたが、子どもが地区の行事との関わりがなくなってくる。郷土愛がなくなってくる。学校がなくなれば、地区はさびれる。統合後は、授業で、郷土に根付いた文化の教育、地元愛を育てて欲しい。
- ㉑ 由利との統合は、もっと将来的には考えてもいいのかも。今は旧本荘市内の3校統合の方向でよいのでは。
- ㉒ 3校統合の場合は、東中学校の辺りに新校舎を建設して欲しいという意見が多かった。

「これからの学校を語る会」(小友地区)での主な意見
(平成30年7月5日 会場:小友公民館)

- ② 小友小学校に石沢小が統合してくれるのであれば、それを10年位続けてから、第4の選択肢に移行するのがよいと思います。複式の話も出ましたが、私は北の股の出身で、金山分校で2年間学びました。複式学級でしたが、先生が非常によく教えてくれました。複式でも先生の教え方によっては、決して悪いものではないと思います。ただ、先生自身は難儀すると思います。今の時代にそんなことを言ってもというところはあると思いますが、決して複式が悪いということはないと思います。中には優秀な人も出ております。
- ③ 統合反対派です。教育格差が生じない施策とありますが、どういうことを言っているのでしょうか。ここで多く言われていることは、少人数になることでのデメリットが出てきていると思うのですが、逆に少人数でのメリットもたくさんあると思っています。
- ④ こういう時代なので、提言にあるとおりに決まていくと思いますので、市で粛々と進めてほしい。ただ、地域の意見を聞いて進めてほしい。小友地区は子どもがいない家でも学校行事などに協力的だが、統合で学校がなくなってしまうと、参加する人が少なくなってしまうのでは。学校がなくなると地域がさみしくなって、活力がなくなって、行事が少なくなるのが心配。公民館などの体制を強化して、今行っている行事を維持できるように検討してほしい。
- ⑤ 自分が中学生の頃は小友中があった。本荘南と統合したが、知らされたのは1年前だった。突然のことで精神的にも辛かった。決定したら早めに伝えてほしい。保護者も安心できるのではないかな。
- ⑥ 保護者の参加者が少ない。周知の仕方がよくなかったのでは。みんなに知らせてもう1回やったほうがよい。小友小がなくなるのは考えられない。第2の選択肢がよいと思う。そして様子を見て、ダメであれば第3に移ることを考えてもいいのではないかな。
- ⑦ 私も地域から学校がなくなるのは寂しい。複式解消、格差の解消と言うが、生身の人間なので困惑すると思う。できる範囲で現状維持をお願いしたいが、将来的には無理だと思うので、その都度の選択を早めに、納得できるような方向に進めてほしい。
- ⑧ 実情がよくわからない。わかる範囲が限られているので、意見を聞かれてもわからない。保護者がもっと来ると思った。果たして保護者がどの位把握しているのか。
- ⑨ 流れがあると思うので、何年後にとかがわかれば話をしやすいと思う。
- ⑩ 小友小では、子どもがいなくても全世帯に学校だよりが届く。統合して大きくなるとどうなるのか。
- ⑪ (公民館に貼ってある写真を見て) こういった敬老会などの地域の行事にも児童が参加して楽しく交流している。こういうものがなくなるのが心配。
- ⑫ 都会と同じようになって、となりは何をする人ぞ、という感じにならないよう、行政でうまく対応してほしい。
- ⑬ 石沢の保護者が仕方なく了解したとして、後で問題が起きないように行政できちんと説明をしてほしい。
- ⑭ 一気に第4に進むのもひとつの方法。
- ⑮ 保護者の参加が少なく、とまどっている。実際、本荘地域の事でやっている(適正化検討会)のに。提言書に対しては、もっと具体的な地域・学校名を書いてもらったほうが、みんな興味を示すのではないかな。
- ⑯ 市の方も具体的に出せない理由があるのだろう。提言書の内容から先は決まっていないのだろうから。
- ⑰ ここに来て、具体的に学校名を入れて聞いて、初めて提言書の内容を理解できた。新聞報道や市の広報では、意味がよくわからなかった。提言書について、意見を言えと言われても、自分には唐突な感じがして、考えが思いつかない。
- ⑱ 12月の語る会にも参加した。第一の提言ですとやってもらいたい。石沢の子が

小友小にただ入れればいいのではない。子供の教育だけ考えればいいという訳ではない。学校が無くなる地域への影響、デメリットは大きい。石沢の方も言っていた。学校中心に地域コミュニティ・文化の継承が続いてきた。小友・石沢が統合しても絆がもろいものになるのではないか。教育と別の意味でのコミュニティとしての学校がある。学校の枠組み（校区）を外してはどうか。特色ある学校づくりをして、子ども達が好きな学校を選択して入学できる仕組みを作ってはどうか。

- ⑱ 地域から学校がなくなるのは、大変なこと。昭和40年代に小友中がなくなって（本荘で一番早かった）、南中に統合され、その後東中ができた。地区から小中学校がなくなるといっても、子吉地区には東中がある。

アンケートは、回答がかたよっている。年代によって学校に対する思いが違う。60～70代は、地域から学校がなくなったのを経験している世代。地域に学校を残したい。40～50代は、そうでもない。教育も標準的な事を求めている。30代以下はもっとそう。自分の考えで良いと思った地区を求めて、移住していく。学校が無くなるのは嫌だと思ふ気持ちは分かる。ただ複式も避けたいのも分かる。子供の人数が少ないと、スポ少も選べないというハンデもある。複雑な思いだ。

将来的には1小1中にならざるを得ないが、学校の老朽化もあり、経済的な問題もある。しかし、課程として段階的には、隣接校と統合するのがよいかと思う。小友、石沢は町内会長の会合も合同で行っており、お互いに理解しあえると思う。

また、保育園の保護者にもっと来てもらい、状況を聞いて、話をしたい。大規模校で育つと、学校への愛着はあまりないだろう。

- ⑳ 児童数が100人を切るようなら統合もやむを得ないのでは。石沢と小友を統合し、次の段階まで10年くらいもたせてはどうか。
- ㉑ どこ地域でも、地域から学校がなくなるのは抵抗があると思う。
- ㉒ 状況は石沢が一番切迫している。子吉は人口減少が進んでいないので意識に差がある。自分には小中学校の子どもがいないが、石沢の語る会で他の保護者の話を聞いている。石沢には先を見越して小友保育園に通わせている親もいる。由利に行くという案も出たが、東中に進学するのであれば小友小との統合がよいと思う。小規模校から進学すると、いじめやギャップが心配。石沢小の学区をなくす（フリーにする）ことによって、他地域から児童を呼び込むことはできないか。統合するなら尾崎小と一緒にする形も考えられる。
- ㉓ 資料には宅地開発や工場進出などの動向も考慮しながら、と書かれている。教育委員会は他の部署と連携しているのか。都市計画とも関連するので、よく意見交換してほしい。市は子育てに対する意識が低いのではないか。子どもが幸せに感じるのが第一。一度転出して戻ってきて子育てしてくれるような施策が必要。そうすれば人口に反映してくる。
- ㉔ 将来の見通しは難しい面もある。かつて南内越小学校が新山小学校に統合されたが、その時は誰も川口地区が発展すると思っていなかった。わかっていたら統合しなくてもよかったかもしれない。
- ㉕ 石沢は来年度から複式となる。今の子どもたちと、数年先の子どもたちへの両方の視点が必要。石沢の切迫感がどれくらいなのかにより、小友小との統合が検討されると思う。小友小学校には余裕教室がなく、人数だけ見ればギリギリセーフかと思うが、教室が手狭になることも考えられる。石沢小はスペースに余裕があると思う。
- ㉖ 旧町地域は「1中学校1小学校」でまとまりやすい。本荘地域は複数の学校があるので、様々な意見が出る。石沢中学校がなくなるときも色々な意見が出た。それまでは保育園から中学校まで同じ人間関係だったので、高校に進んだときに馴染めない例もあった。多様性の話もあったが、クラス替えなど新しい友人を作る力は必要。

「これからの学校を語る会」(子吉地区)での主な意見
(平成30年7月12日 会場:子吉公民館)

- ① 現在の建物の老朽化、限界はいつ頃か。建物的に10年程度なら、経済的なことも考えると第4がいいと思う。
- ② 子吉地区もいずれは100人切るだろう。年数がかかっても、スタンスを持って第4に進んだ方がよいだろう。1中1小を目指して。第3に行くと、いずれ子供が少なくなった時点で、また見直しをかける必要がある。第4に進んでいけば、児童生徒の人数が減った時は、学区の見直し、線引きを変えることにより対応できる。
学区の見直しをするのは2~3年かかるかもしれないが、新しい学校を建てると、費用も時間もかかる。
- ③ 上原に住んでいて、学校が近くていい。ここに来る前は、規模が小さくなくても、子吉小が続いて欲しいと思っていた。しかし、スポ少とか規模が小さいと選べないし、デメリットも見えてきた。
大規模校と小規模校では学力差はあるのか知りたい。大規模になると、通学時間・距離も増えて、子供の時間がなくなる。
- ④ 新潟から転入してきた。由利本荘市での住居は色々調べて子吉に決めた。前は大きい学校だったので、心配していたが、子吉小は1学年1クラスで、それがいい。他の学年の友達ができたり、縦のつながりができたりした。
第3の選択肢に子吉は入るのか。子供の数は減っていない。
0歳児の親に、地域の事、学校の事、教育の事、もっと啓発・勉強してもらうような機会が必要だと思う。
- ⑤ 昔は子吉地区にも玉ノ池に小学校があった。中学校は上原(現在の小学校)の所。子供は順応性があるから、小規模校から大規模校になっても大丈夫。ただ、通学手段とか、確かなものを確立してほしい。
先生の数も気になる。大規模校になった時、先生の配置とか不足が無いように配慮して欲しい。将来的に第4に進むしかないだろう。小友・石沢は間違いなく統合だろう。
- ⑥ 将来的なことを考えて、第4に進み、学区の再編も進めればよい。今の鶴舞小を尾崎小に異動させ、東中の脇に第4小学校を建てればいいのでは。
- ⑦ 統合は避けられないと思う。3校統合となると新校舎建設の必要があるが、その後で尾崎小も含めた再編をするのは大変ではないか。新しい小学校は最初から子吉小友石沢に尾崎小の一部を加えた形がよい。尾崎小は現状で中学進学時に分散している。
- ⑧ 長い目で単純に考えれば第4の選択肢ということになるが、とりあえず10年後のことを考えるのであれば先に小友小と石沢小の統合を検討するべき。石沢地区では統合して多人数の環境で学ばせたいという意見が出てきた。
- ⑨ 大内地域は例外だが、他の地域は1中学校1小学校にまとまっている。校区が広くなると通学が大変だが、考えを切り替えないといけない。スクールバスもあるが、部活などがあればたいてい家族が送迎しているのではないか。
- ⑩ 新しい学校を建設しても、児童数がさらに減る可能性もある。昔のように複数の子どもがいる家は減っている。無駄にならないように人口増の施策も併せて進めて欲しい。教員や校務員の数を確保する必要もある。
- ⑪ 高校でも人数が足りず大会に出られない事例が増えている。2校の連合チームが増えているが、3校連合という場合も出てきている。実技教科の指導や部活動のことを考えると、小中を隣接させると教員が連携しやすい。大会に出られないと、子どもの活躍の機会がなくなる。
- ⑫ スポ少や部活には民間の指導者が入ってきている。連合チームの条件を緩めるなど、現状追認ではあるが変化が見られる。
- ⑬ 孫が再来年中学校に進学するが、選択可能な状態なので色々考えている。部活をどうするかにもよるが、自分もスポーツをしていたので、同じようにやらせてあげたい。
- ⑭ 60代以上の世代は、地域から学校がなくなることに「なぜ」という気持ちが強い。

子吉中がなくなるときも親は不安だった。

- ⑮ それぞれの選択肢で、何をやらなければならない最短で何年くらいかかるのかという説明があってよかった。自分の子どもがどこの学校に行くのかわからなければ親は不安。未就学児の親を対象とした説明会を開いてはどうか。
- ⑯ 色々な意見が出てなかなかまとまらないかもしれないが、教育委員会としては第4の選択肢になるのではないか。色々な情報を示しながら、住民の意見を聞きながら進めてほしい。
- ⑰ 第2に急いでほしい。そして、第4に行くべきだが、それまでの間、学区の見直しを再検討して、ある程度児童数の均衡を図ってほしい。子吉、小友、石沢で学校を建てるのは無駄。石沢は小友と一緒にになりたいとのことだが、市全体のことを考えれば由利に行くという方法もある。
- ⑱ どうせ7～8年かかるのであれば第4に行くべき。第3は考えないほうがよいと思う。由利に行く案も出たが、ちょっとした地域性が将来大きな問題になるのでは。
- ⑲ 1中学校区1小学校といっても、学区のことには触れていないのでは。
- ⑳ 東中学校区の時も来た。尾崎は地域性がなくて関心がない。尾崎を残すか鶴舞を残すかということになると思うが、今の保護者は環境が大事。第3は尾崎を配慮した選択肢だと思うが、心配しなくてもよいと思う。途中で無駄な経費は使わないほうがよい。
- ㉑ 一般的に考えれば、複式は解消したほうがよいと思うので、第2を考えた場合は石沢の意向を十分に反映させたほうがよい。
保護者は複式を回避して大人数の中で学んでほしいと思っている。年配の人達はなんとか学校を残して、なおかつ複式を解消してほしいと思っているようだ。
- ㉒ 第3と第4は市の財政上、難しいのでは。1中学校区1小学校となった場合、尾崎の学区をどうするかだと思う。子吉は小学校は変わってないが、中学校は南中、東中と移ってきている。
- ㉓ 昔の子より今の子供は順応性がある。全てがそうとは限らないが抵抗は少ないと思う。ただ、第2、第4になったとしても、子ども同士の見えない部分で生まれる問題はあるので、配慮していかなければならない。
- ㉔ 鳥海など統合したところで、反対した保護者の気持ちがどのように変わっていったかなど、参考となる事例のようなものがあれば不安もなくなるのでは。
- ㉕ 子吉中から本荘南中、そして本荘東中へ移った経緯があるが、当時、子吉の中でも意見が分かれて大変だった。仮に第4になった時に、近い方に行ってもいいとなればまた問題が出てくるので、十分な検討が必要である。かなり慎重に進めるべき。当時は怪文書が出たりもした。
- ㉖ 学区の再編となれば、尾崎と鶴舞、2つ残すわけにはいかないと思う。年配の人達は鶴舞を残してほしいと思っている。石脇の場所によっては、鶴舞、南中に近い人達もいる。北中の学区も考えてあげなければならない。